

3章 健康・医療情報の分析からみる現状

1. 医療費の状況

(1) 総医療費及び被保険者 1 人あたりの医療費の状況

医療費及び被保険者 1 人あたりの年間医療費は入院・入院外ともに、年々増加しています。

表 5 医療費の推移

		H25 年度	H26 年度	H27 年度
被保険者数(人)		16,450	16,958	17,570
レセプト件数(件)	入院外	118,168	123,283	132,017
	入院	2,617	2,933	2,981
	調剤	70,932	70,311	68,806
	全体	191,717	196,527	203,804
医療費(円)	入院外	1,730,227,360	1,765,645,470	1,903,147,910
	入院	1,345,592,410	1,607,145,380	1,624,161,800
	調剤	841,397,240	820,926,200	865,687,460
	全体	3,917,217,010	4,193,717,050	4,392,997,170
患者数(人)		87,379	88,472	90,286
1 人あたりの年間医療費(円)		238,129	247,300	250,028
1 人あたりの医療費(円)		44,830	47,402	48,656
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	14,642	14,322	14,416
	入院	514,174	547,953	544,838
	調剤	11,862	11,676	12,582
	全体	20,432	21,339	21,555

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科・調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月診療分)より集計
 ※医療費はレセプトに記載されている保険の請求点数を 10 倍したものを集計している。

平成 27 年度における被保険者 1 人あたりの医療費の県との比較では、外来で 1,259 円低くなっていますが、入院では 137 円高くなっています。

表 6 医療費の比較(平成 27 年度)

		白井市	千葉県
1 人あたりの医療費(円)	入院	8,721	8,584
	外来	13,326	14,585
1 日あたりの医療費(円)	入院	39,806	36,619
	外来	15,725	14,715
1 件あたりの医療費(円)	入院	546,135	541,845
	外来	23,249	22,888

出典:KDB 市町村別データ
 ※千葉県の値は市区町村別数値の合計値を記載している。
 ※KDB による計算値ため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

9 小学校区別では、大山口小学校区、池の上小学校区は 1 人あたりの年間医療費が高い傾向にあります。一方で、南山小学校区、桜台小学校区は入院 1 件あたりの医療費が高いことが分かります。

表 7 基礎統計(小学校区別、平成 27 年度)

		白井第一	白井第二	白井第三	大山口	清水口	七次台
被保険者数(人)		1,909	1,472	3,056	2,011	1,981	1,598
レセプト件数(件)	入院外	13,778	10,308	21,063	16,314	16,436	11,179
	入院	270	313	508	447	336	207
	調剤	6,141	5,158	11,318	8,707	9,118	6,153
	全体	20,189	15,779	32,889	25,468	25,890	17,539
医療費(円)	入院外	190,285,790	153,075,870	312,985,400	248,280,660	249,839,680	154,829,130
	入院	130,582,450	165,657,700	273,814,840	243,172,560	176,151,270	106,254,420
	調剤	68,819,910	65,020,530	139,562,650	111,250,170	100,753,060	75,239,350
	全体	389,688,150	383,754,100	726,362,890	602,703,390	526,744,010	336,322,900
患者数(人)		9,534	7,329	14,596	10,891	11,020	7,691
1 人あたりの年間医療費(円)		204,132	260,703	237,684	299,703	265,898	210,465
1 人あたりの医療費(円)		40,874	52,361	49,765	55,340	47,799	43,729
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	13,811	14,850	14,859	15,219	15,201	13,850
	入院	483,639	529,258	539,006	544,010	524,260	513,306
	調剤	11,207	12,606	12,331	12,777	11,050	12,228
	全体	19,302	24,321	22,085	23,665	20,345	19,176

(続き)

		南山	池の上	桜台	その他	全域
被保険者数(人)		1,885	1,777	1,433	448	17,570
レセプト件数(件)	入院外	15,432	15,136	11,294	1,077	132,017
	入院	306	351	204	39	2,981
	調剤	8,470	8,330	4,875	536	68,806
	全体	24,208	23,817	16,373	1,652	203,804
医療費(円)	入院外	201,020,890	215,892,330	162,743,210	14,194,950	1,903,147,910
	入院	179,420,240	189,434,480	135,252,950	24,420,890	1,624,161,800
	調剤	118,263,440	110,636,650	70,029,450	6,112,250	865,687,460
	全体	498,704,570	515,963,460	368,025,610	44,728,090	4,392,997,170
患者数(人)		10,526	10,248	7,699	752	90,286
1 人あたりの年間医療費(円)		264,565	290,356	256,822	99,839	250,028
1 人あたりの医療費(円)		47,378	50,348	47,802	59,479	48,656
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	13,026	14,263	14,410	13,180	14,416
	入院	586,341	539,699	663,005	626,177	544,838
	調剤	13,963	13,282	14,365	11,403	12,582
	全体	20,601	21,664	22,478	27,075	21,555

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

(2) 年齢階級別の医療費の状況

1人あたりの年間医療費は入院及び入院外いずれも男性は45～49歳、女性は40～44歳で一度増加した後、60歳以上以降は年齢とともに医療費が顕著に増加しています。男女別に見ると、女性の入院外医療費が高いことが特徴であり、65歳以上の女性では女性全体の医療費の29.0%以上を占めています。

表 8 年齢階級別の医療費(平成 27 年度、男性)

		0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳
医療費(円)	入院外	6,841,300	12,131,660	12,011,050	5,712,040	8,325,660	7,305,460
	入院	1,078,390	1,930,150	5,555,630	1,192,590	2,881,200	4,899,960
	調剤	4,530,270	6,502,790	7,475,800	2,118,790	3,273,130	2,167,640
	全体	12,449,960	20,564,600	25,042,480	9,023,420	14,479,990	14,373,060
1人あたりの年間医療費(円)		106,410	86,406	93,792	36,981	44,969	48,558
1人あたりの医療費(円)		18,122	16,967	21,814	14,255	24,795	31,940
レセプト1件あたりの医療費(円)	入院外	7,286	7,335	7,861	7,586	12,262	14,103
	入院	215,678	482,538	505,057	298,148	320,133	445,451
	調剤	6,318	6,595	9,659	6,213	9,352	9,343
	全体	7,495	7,778	10,827	8,218	13,950	18,887

(続き)

		30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳
医療費(円)	入院外	14,292,290	32,039,310	40,619,940	59,649,330	35,980,790	36,056,350
	入院	5,242,400	15,062,550	27,875,900	44,928,080	19,905,440	23,592,370
	調剤	4,987,110	10,778,290	15,413,440	18,469,690	13,356,450	22,837,940
	全体	24,521,800	57,880,150	83,909,280	123,047,100	69,242,680	82,486,660
1人あたりの年間医療費(円)		64,701	125,282	122,854	170,425	141,601	166,977
1人あたりの医療費(円)		29,509	46,046	49,739	56,625	46,503	47,243
レセプト1件あたりの医療費(円)	入院外	14,278	20,697	19,661	20,886	18,769	16,293
	入院	291,244	579,329	480,619	436,195	642,111	445,139
	調剤	9,875	13,065	14,596	12,853	13,356	18,567
	全体	16,090	24,127	26,387	27,991	23,488	23,595

(続き)

		60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	全体
医療費(円)	入院外	72,951,410	272,958,990	302,005,830	918,881,410
	入院	75,093,180	296,908,590	414,147,400	940,293,830
	調剤	28,602,060	116,237,220	169,210,010	425,960,630
	全体	176,646,650	686,104,800	885,363,240	2,285,135,870
1人あたりの年間医療費(円)		245,002	402,880	531,431	259,586
1人あたりの医療費(円)		57,112	63,026	68,943	56,121
レセプト1件あたりの医療費(円)	入院外	17,324	17,173	14,926	15,840
	入院	605,590	612,183	580,038	567,810
	調剤	13,266	14,548	15,597	13,990
	全体	27,214	28,154	27,844	25,358

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

表 9 年齢階級別の医療費(平成 27 年度、女性)

		0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳
医療費(円)	入院外	7,326,180	12,265,730	10,843,210	6,510,750	9,236,030	9,309,660
	入院	1,716,160	2,169,360	2,151,050	2,330,080	1,387,900	4,428,520
	調剤	2,982,990	6,062,980	3,985,680	2,052,440	2,932,170	4,553,080
	全体	12,025,330	20,498,070	16,979,940	10,893,270	13,556,100	18,291,260
1 人あたりの年間医療費(円)		116,751	92,751	68,745	50,199	54,224	69,024
1 人あたりの医療費(円)		23,955	16,885	16,469	16,941	23,332	23,331
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	10,711	7,310	8,159	8,190	12,881	8,290
	入院	286,027	309,909	215,105	388,347	154,211	177,141
	調剤	5,650	6,270	6,347	5,473	9,459	8,339
	全体	9,873	7,729	8,632	9,263	13,085	10,798

(続き)

		30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳
医療費(円)	入院外	13,184,600	17,331,710	36,508,110	34,079,340	39,480,080	50,785,100
	入院	5,204,400	20,476,520	30,385,300	9,449,570	29,053,290	27,313,900
	調剤	6,498,230	8,181,860	14,714,460	13,884,400	16,188,690	21,905,100
	全体	24,887,230	45,990,090	81,607,870	57,413,310	84,722,060	100,004,100
1 人あたりの年間医療費(円)		79,259	127,750	139,979	99,159	198,412	207,477
1 人あたりの医療費(円)		23,259	36,099	44,425	29,337	46,911	43,939
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	9,445	10,907	14,499	13,286	15,654	15,930
	入院	247,829	445,142	349,256	410,851	403,518	496,616
	調剤	9,528	10,667	12,919	11,580	12,608	13,970
	全体	11,857	19,147	21,797	15,161	21,847	20,787

(続き)

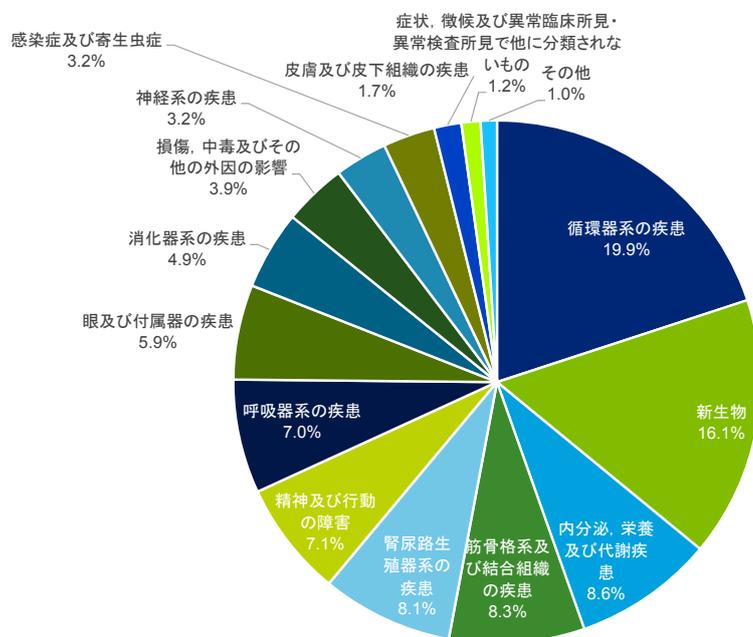
		60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	全体
医療費(円)	入院外	125,962,200	281,789,610	329,924,190	984,266,500
	入院	93,104,370	234,447,300	220,250,250	683,867,970
	調剤	52,232,270	126,530,310	157,022,170	439,726,830
	全体	271,028,840	642,767,220	707,196,610	2,107,861,300
1 人あたりの年間医療費(円)		282,028	332,695	387,293	240,431
1 人あたりの医療費(円)		47,275	46,086	47,421	42,525
レセプト 1 件あたりの医療費(円)	入院外	15,142	13,291	13,522	13,300
	入院	567,710	608,954	538,509	516,127
	調剤	12,796	11,205	12,087	11,464
	全体	21,601	19,550	18,709	18,541

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

(3) 疾病別⁸の医療費等の状況

疾病別の医療費において、大分類別の医療費の構成は「循環器系の疾患」「新生物」の割合が高く、全体の36.0%を占めています。

図 7 医療費の疾病(大分類)構成(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

中分類別の医療費が最も高い疾病は「腎不全」です。

また、上位 10 疾病のうち、「糖尿病」「高血圧性疾患」「虚血性心疾患」、脂質異常症や高尿酸血症を含む「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の 4 疾病が生活習慣病であり、生活習慣病の占める割合が多くなっています。

表 10 疾病別医療費上位 10 疾病(中分類、平成 27 年度)

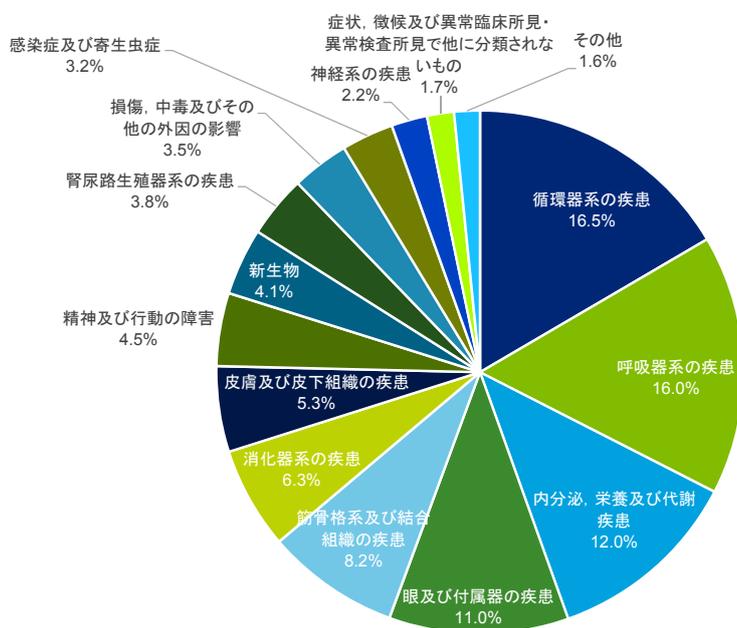
順位	疾病名(中分類)	医療費(円)
1	腎不全	244,339,570
2	糖尿病	202,435,750
3	高血圧性疾患	197,993,190
4	その他の悪性新生物	191,818,210
5	虚血性心疾患	186,907,680
6	その他の眼及び付属器の疾患	160,244,960
7	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	154,702,680
8	その他の心疾患	152,493,090
9	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	118,791,400
10	その他の消化器系の疾患	108,070,610

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

⁸ 厚生労働省の定める社会保険表章用疾病分類。詳細は、本計画書のその他(参考資料)(7)厚生労働省社会保険表章用疾病分類(P69)を参照。

疾病別の患者数において、大分類別の患者数の構成は「循環器系の疾患」が 16.5%と最も多く、「呼吸器系の疾患」16.0%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」12.0%と続きます。

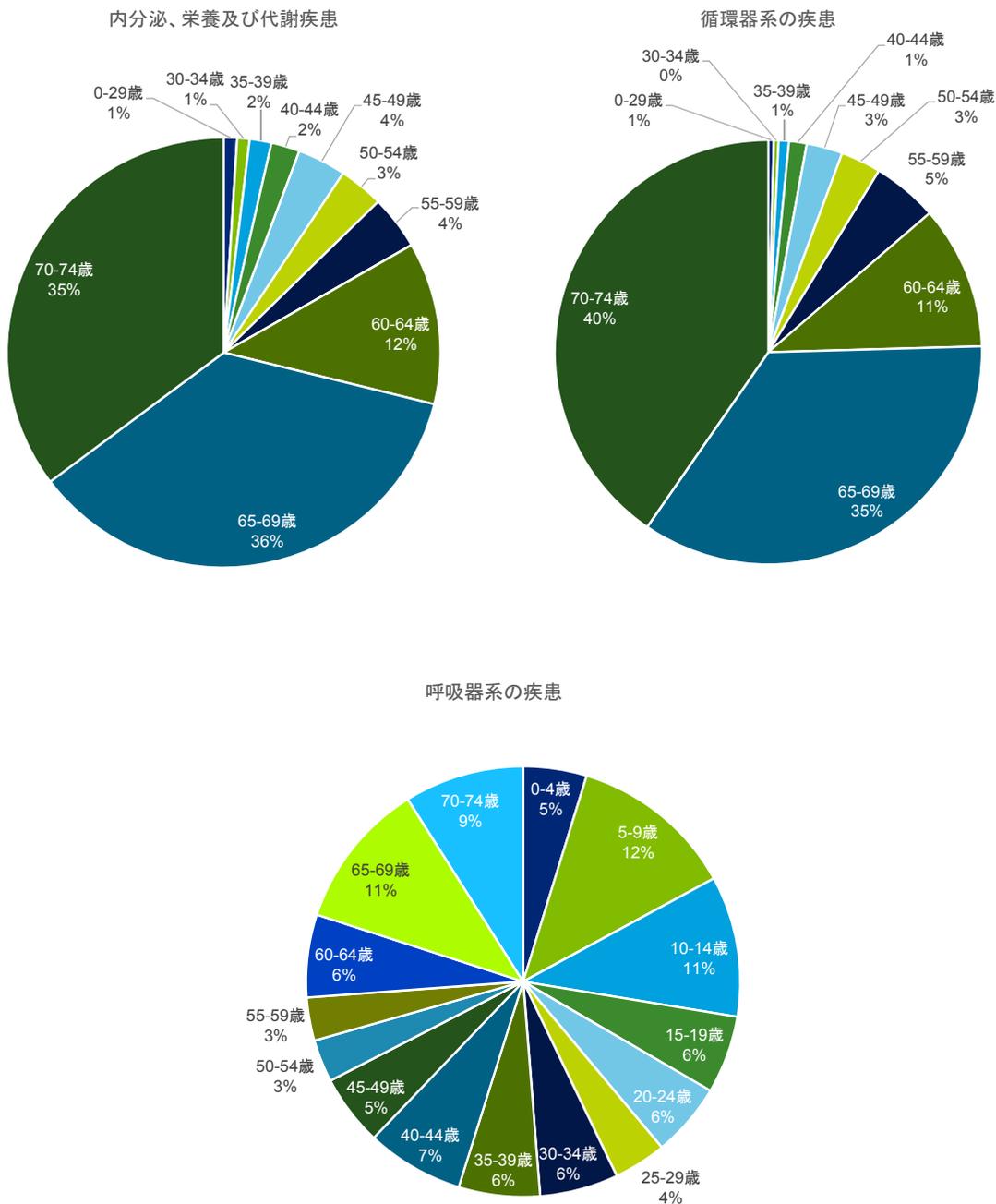
図 8 患者数の疾病(大分類)構成(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

患者数の全体に占める割合が高い上位 3 疾病において、「循環器系の疾患」と「内分泌、栄養及び代謝疾患」では 60 歳以上の全体に占める割合高くなっており、「呼吸器系の疾患」では 15 歳以下及び 65 歳以上の割合が高くなっています。

図 9 患者の年齢構成(平成 27 年度)



出典: KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

年齢階級別の患者数では、19歳以下は「呼吸器系の疾患」、25歳～54歳は「精神及び行動の障害」、55歳以上は「循環器系の疾患」が最も多くなっています。

表 11 年齢階級別患者数上位 5 疾病(大分類、平成 27 年度)

年齢階級	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～4 歳	呼吸器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	先天奇形, 変形及び染色体異常	耳及び乳様突起の疾患	新生物
5～9 歳	呼吸器系の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	眼及び付属器の疾患	感染症及び寄生虫症	損傷, 中毒及びその他の外因の影響
10～14 歳	呼吸器系の疾患	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	神経系の疾患	精神及び行動の障害	皮膚及び皮下組織の疾患
15～19 歳	呼吸器系の疾患	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	眼及び付属器の疾患
20～24 歳	新生物	呼吸器系の疾患	精神及び行動の障害	皮膚及び皮下組織の疾患	神経系の疾患
25～29 歳	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患
30～34 歳	精神及び行動の障害	呼吸器系の疾患	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患
35～39 歳	精神及び行動の障害	皮膚及び皮下組織の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	感染症及び寄生虫症	内分泌, 栄養及び代謝疾患
40～44 歳	精神及び行動の障害	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	内分泌, 栄養及び代謝疾患	神経系の疾患
45～49 歳	精神及び行動の障害	腎尿路生殖器系の疾患	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	消化器系の疾患	新生物
50～54 歳	精神及び行動の障害	新生物	腎尿路生殖器系の疾患	循環器系の疾患	内分泌, 栄養及び代謝疾患
55～59 歳	循環器系の疾患	腎尿路生殖器系の疾患	精神及び行動の障害	新生物	内分泌, 栄養及び代謝疾患
60～64 歳	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌, 栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患
65～69 歳	循環器系の疾患	新生物	内分泌, 栄養及び代謝疾患	腎尿路生殖器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患
70～74 歳	循環器系の疾患	新生物	筋骨格系及び結合組織の疾患	内分泌, 栄養及び代謝疾患	眼及び付属器の疾患

出典: KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

表 12 中、中分類別の患者数では、「高血圧性疾患」が最も多く 1,247 人います。また、上位 10 疾病のうち、「高血圧性疾患」、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「糖尿病」の 3 疾病が生活習慣病であり、生活習慣病の占める割合が多くなっています。

表 12 疾病別患者数上位 10 疾病(中分類、平成 27 年度)

順位	疾病名(中分類)	患者数(人)
1	高血圧性疾患	1,247
2	その他の眼及び付属器の疾患	818
3	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	706
4	糖尿病	619
5	喘息	462
6	アレルギー性鼻炎	392
7	その他の消化器系の疾患	326
8	皮膚炎及び湿疹	325
9	その他の損傷及びその他の外因の影響	283
10	急性気管支炎及び急性細気管支炎	262

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

疾病別大分類の 1 人あたりの医療費(図 10)において、最も高額なのは、「新生物」の 130 万 467 円で、「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」96 万 9,150 円、「腎尿路生殖器系の疾患」70 万 4,815 円と続いています。

図 10 疾病別(大分類)1 人あたりの医療費(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

疾病別 1 人あたりの医療費では、「白血病」817 万 9,630 円が最も多く、「腎不全」436 万 3,207 円、「脳内出血」340 万 9,506 円、「くも膜下出血」321 万 5,880 円と続きます。

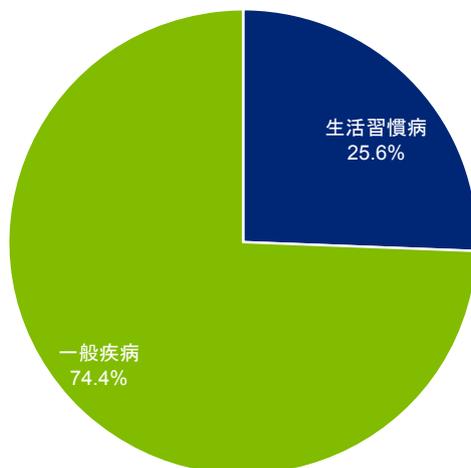
表 13 疾病別 1 人あたりの医療費の上位 10 疾病(中分類、平成 27 年度)

順位	疾病名(中分類)	1 人あたりの医療費(円)
1	白血病	8,179,630
2	腎不全	4,363,207
3	脳内出血	3,409,506
4	くも膜下出血	3,215,880
5	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	2,442,954
6	ウイルス肝炎	2,083,860
7	悪性リンパ腫	1,947,497
8	胃の悪性新生物	1,894,396
9	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	1,871,388
10	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,862,330

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

これらの疾病を生活習慣病と生活習慣病以外の疾病(以下「一般疾病」という。)に区分してみると、生活習慣病の医療費は医療費総額の 25.6%を占めています。

図 11 医療費に占める生活習慣病の割合(平成 27 年度)



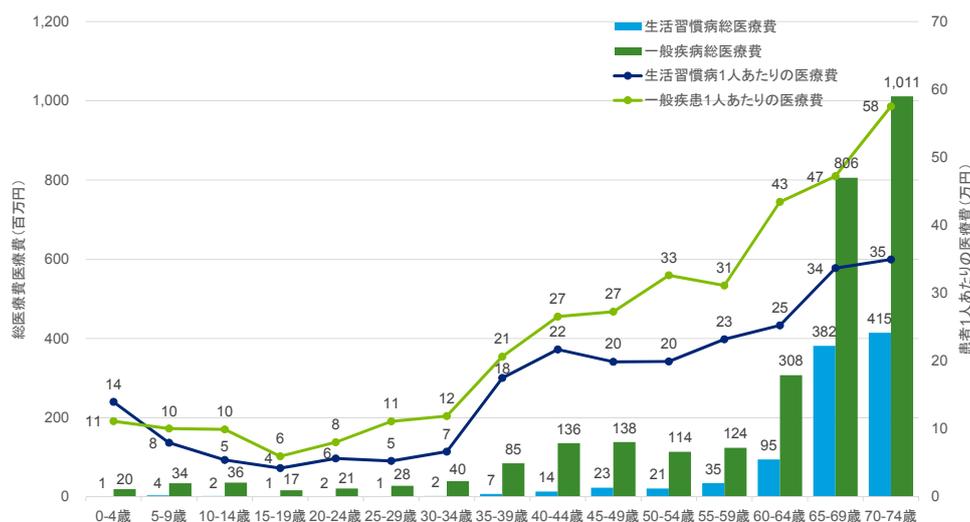
出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

2. 生活習慣病の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の疾病による医療費の状況

平成 27 年度の年間医療費総額及び患者 1 人あたりの医療費を年齢階級別に一般疾病と生活習慣病に区分して表しています。1 人あたりの医療費において、一般疾病は 60 歳以降で急激に増加しますが、生活習慣病は緩やかな増加となっています。

図 12 生活習慣病と一般疾病の年齢階級別年間医療費総額と患者 1 人あたりの医療費(平成 27 年度)

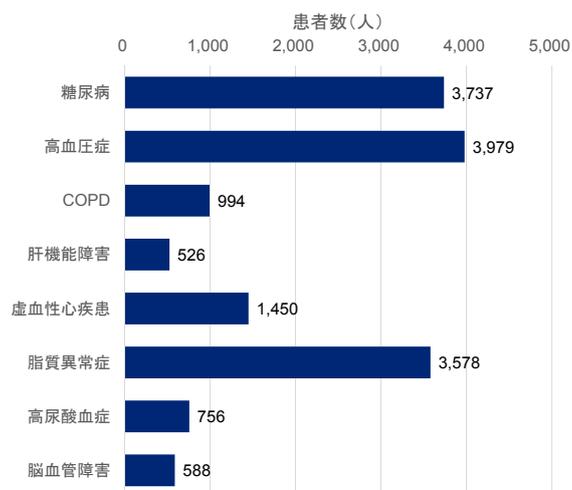


出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

(2) 生活習慣病における年齢階級別被保険者の受診状況

生活習慣病の患者数は、高血圧症が 3,979 人と最も多く、糖尿病 3,737 人、脂質異常症 3,578 人と続きます。

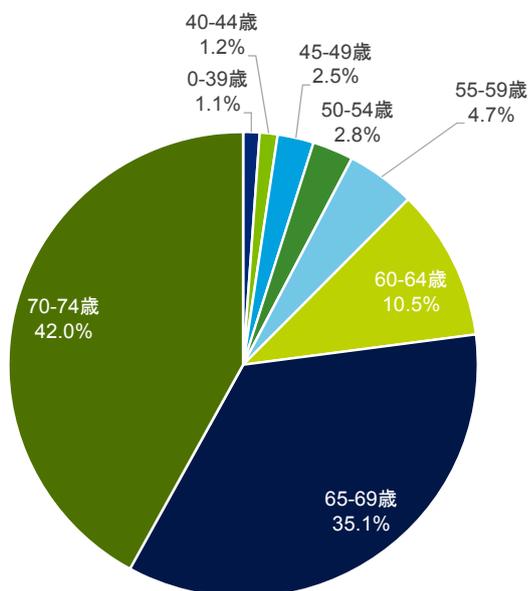
図 13 生活習慣病の患者数(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計
 ※併存疾患としての生活習慣病患者も含むため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

患者数が最も多い高血圧症の患者は87.6%が60歳以上となっており、65～69歳は35.1%、70～74歳は42.0%とそれぞれ全体の1/3以上となっています。

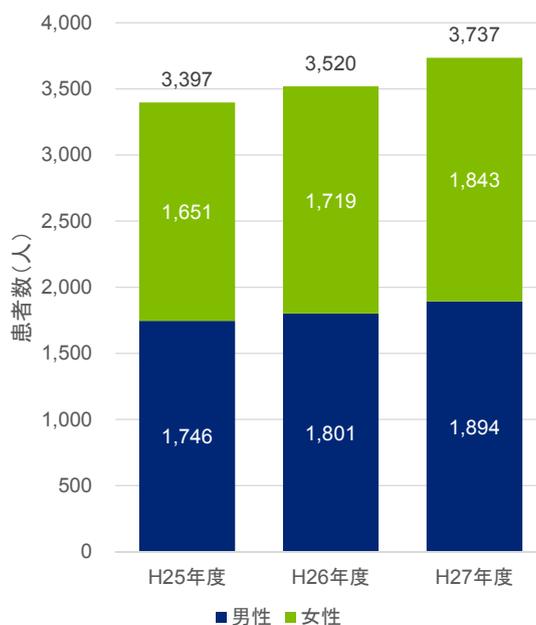
図 14 高血圧症の患者の年齢構成(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計
 ※併存疾患としての生活習慣病患者も含むため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

糖尿病の患者は年々増えており、平成 25 年度～平成 27 年度の 3 年間で年平均 5.0%増加しています。特に女性の糖尿病患者が増え、年平均 5.8%増加しています。

図 15 糖尿病の患者数の推移

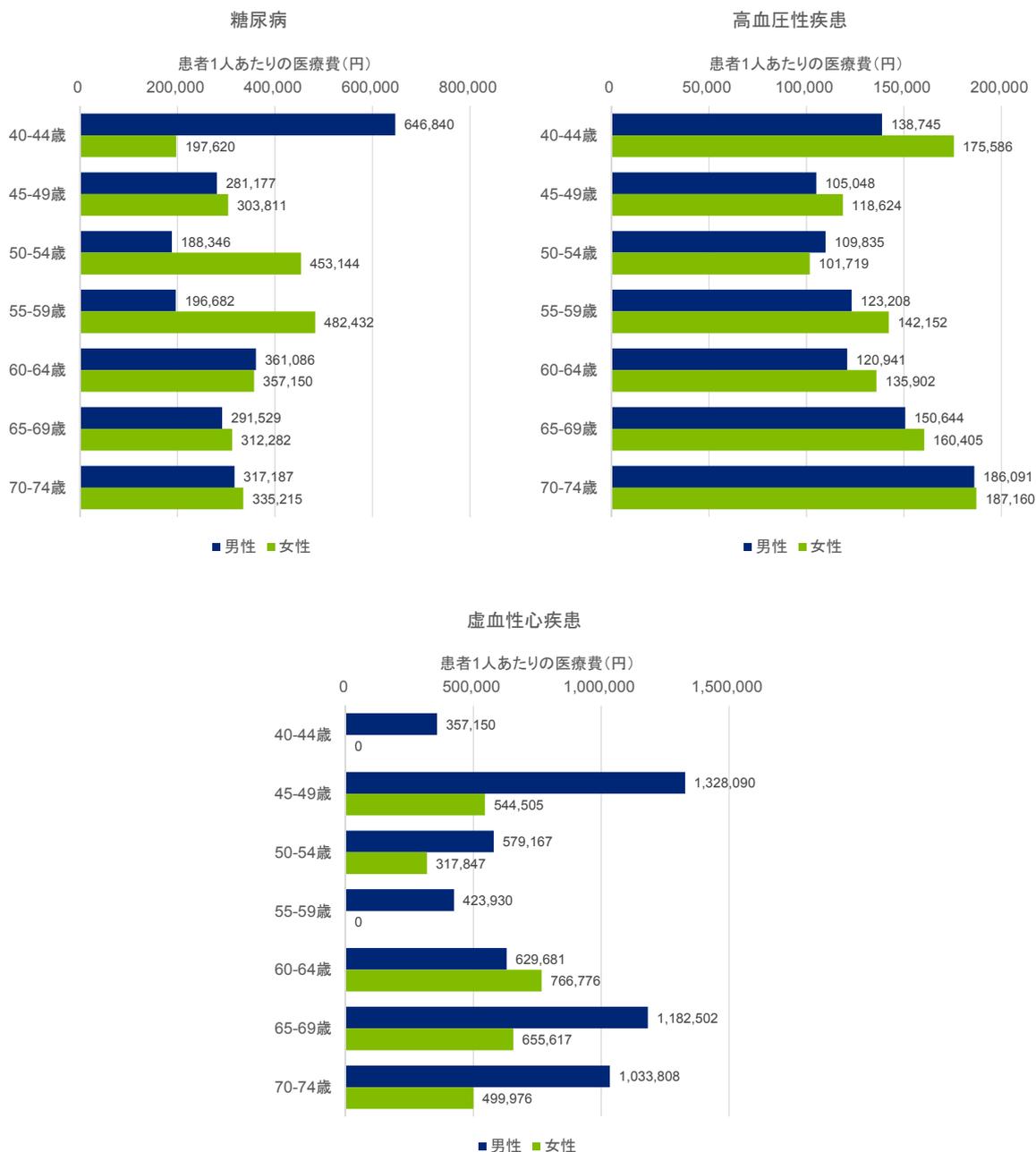


出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計
 ※併存疾患としての生活習慣病患者も含むため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

(3) 生活習慣病の患者 1 人あたりの医療費の比較

生活習慣病の患者 1 人あたりの年間医療費を性別・年齢階級別にみると、糖尿病では、男性の 40～44 歳が最も高く、女性は 50～59 歳が高くなっています。高血圧性疾患では、男女いずれも 45 歳以降から年齢が上がるにつれて医療費が高くなっています。虚血性心疾患では、男性の医療費が高い傾向にあります。

図 16 生活習慣病の患者 1 人あたりの年間医療費



出典: KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計
 ※患者 1 人あたりの医療費は該当疾患にかかる医療費を患者(主傷病)数で割ったため、患者数の少ない年齢階級、性別では個人に依存した値になっている可能性がある。

3. 高額レセプトからみる状況

(1) 高額レセプトの件数及び割合

レセプトのうち、診療報酬⁹の点数が 5 万点以上のものを高額レセプトと定義し、集計しました。高額レセプトは、年間 1,159 枚発生しており、月平均約 100 枚、全レセプトの 0.6%の件数になります。高額レセプトの医療費は、年間 12 億 9,121 万 2,670 円で、医療費全体の 29.4%を占めています。

表 14 高額レセプトのレセプト件数、医療費及び患者数(平成 27 年度)

高額レセプト件数(件)	入院外	125
	入院	1,034
	全体	1,159
全レセプトに占める 高額レセプトの割合(%)	入院外	0.1
	入院	34.7
	全体	0.6
高額医療費(円)	入院外	113,228,340
	入院	1,177,984,330
	全体	1,291,212,670
全医療費に占める 高額医療費の割合(%)	入院外	5.9
	入院	72.5
	全体	29.4
患者数(人)		1,143

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

⁹ 保険診療の際に、医療従事者の医療行為に対して支払う報酬を決める単位である。1 点につき 10 円で計算される。

(2) 高額レセプトの年齢階級別統計

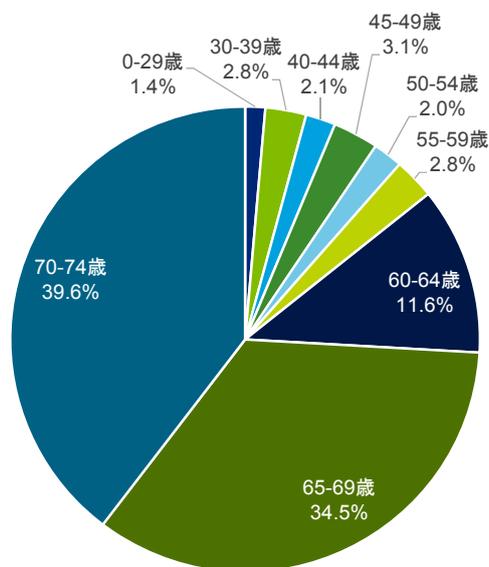
高額レセプトの件数及び医療費は、3年間で急増しており、特に平成25年度から平成26年度にかけて増加していることが分かります。年齢構成別では、患者数、医療費ともに60歳以上が全体の約85%を占めています。

図 17 高額レセプトのレセプト件数と医療費の推移



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

図 18 高額レセプトの医療費の年齢構成(平成27年度)



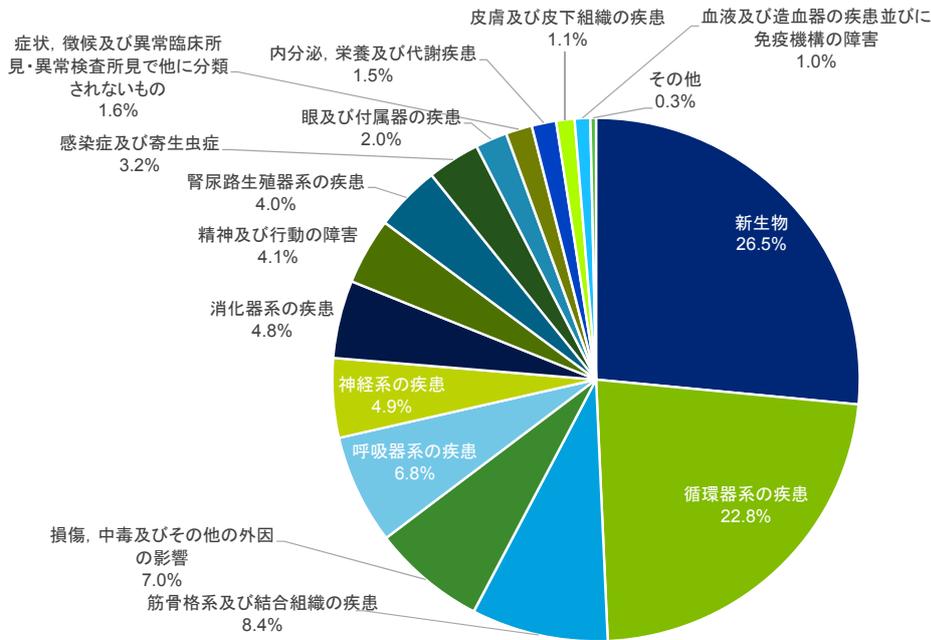
出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

(3) 高額レセプトの要因となる疾病傾向

高額レセプト対象者を疾病別(大分類)に集計しました。医療費は、「新生物」26.5%、「循環器系の疾患」22.8%で、全体のおよそ半数を占めています。

また、高額レセプトの医療費(表 15)及び高額レセプトの患者数(表 16)においても「その他の悪性新生物」と「虚血性心疾患」や「脳梗塞」などの循環器系の疾患が上位を占めています。

図 19 高額レセプトの医療費の疾病(大分類)構成(平成 27 年度)



出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

表 15 高額レセプトの医療費上位 5 疾病(中分類、平成 27 年度)

順位	疾病名(中分類)	医療費(円)
1	その他の悪性新生物	128,637,410
2	虚血性心疾患	80,328,220
3	その他の心疾患	66,186,850
4	その他の呼吸器系の疾患	57,632,490
5	脳梗塞	53,307,310

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

表 16 高額レセプトの患者数上位 5 疾病(中分類、平成 27 年度)

順位	疾病名(中分類)	患者数(人)
1	その他の悪性新生物	107
2	脳梗塞	57
3	その他の精神及び行動の障害	53
4	虚血性心疾患	50
5	その他の心疾患	50
	腎不全	50

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

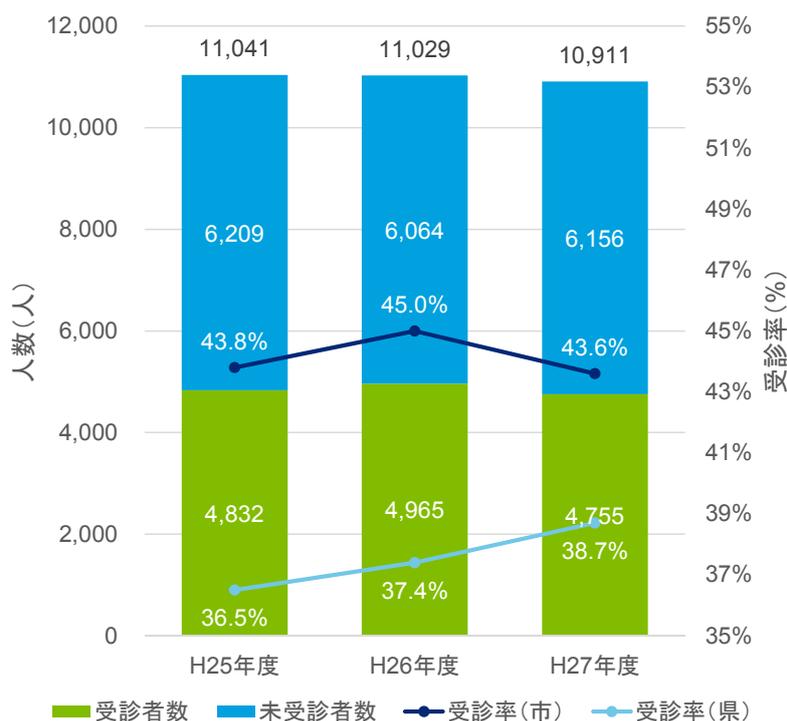
4. 特定健康診査の実施状況

(1) 特定健康診査受診率

本市の平成 27 年度の 40 歳から 74 歳を対象にした特定健診の受診状況は、受診者数が 4,755 人で受診率 43.6%となっており、千葉県受診率 38.7%と比較すると、高い傾向となっています。

しかし、平成 27 年度の男女年齢階級別受診状況を見ても、40 歳代の受診率が低く、特に男性の受診率が低い状況となっています。

図 20 特定健診の実施状況



出典：平成 25 年度～平成 27 年度実施法定報告保険者別集計
 ※法定報告資料によるため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

表 17 平成 27 年度特定健診男女年齢階級別の受診状況

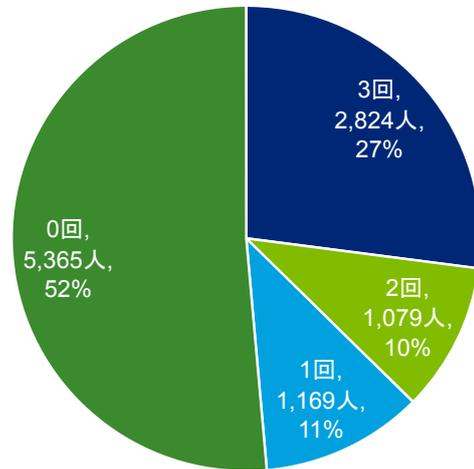
	男性			女性		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
40～49 歳	891	173	19.4%	690	194	28.1%
50～59 歳	621	178	28.7%	671	254	37.9%
60～69 歳	2,161	935	43.3%	2,719	1,372	50.5%
70～74 歳	1,510	771	51.1%	1,648	878	53.3%
合計	5,183	2,057	39.7%	5,728	2,698	47.1%

出典：平成 27 年度特定健康診査法定報告値

本市の特定健診の過去3年間の受診状況では、3年間連続未受診者が全体の51.4%と過半数を占め、続いて3年間連続受診者が全体の27.1%を占めています。

図 21 特定健診の受診パターンと受診回数別の人数

#	H25年度	H26年度	H27年度	受診者数	割合
1	○	○	○	2,824	27.1%
2	○	○	×	502	4.8%
3	○	×	○	203	1.9%
4	×	○	○	374	3.6%
5	○	×	×	501	4.8%
6	×	○	×	329	3.2%
7	×	×	○	339	3.2%
8	×	×	×	5,365	51.4%
合計				10,437	100.0%



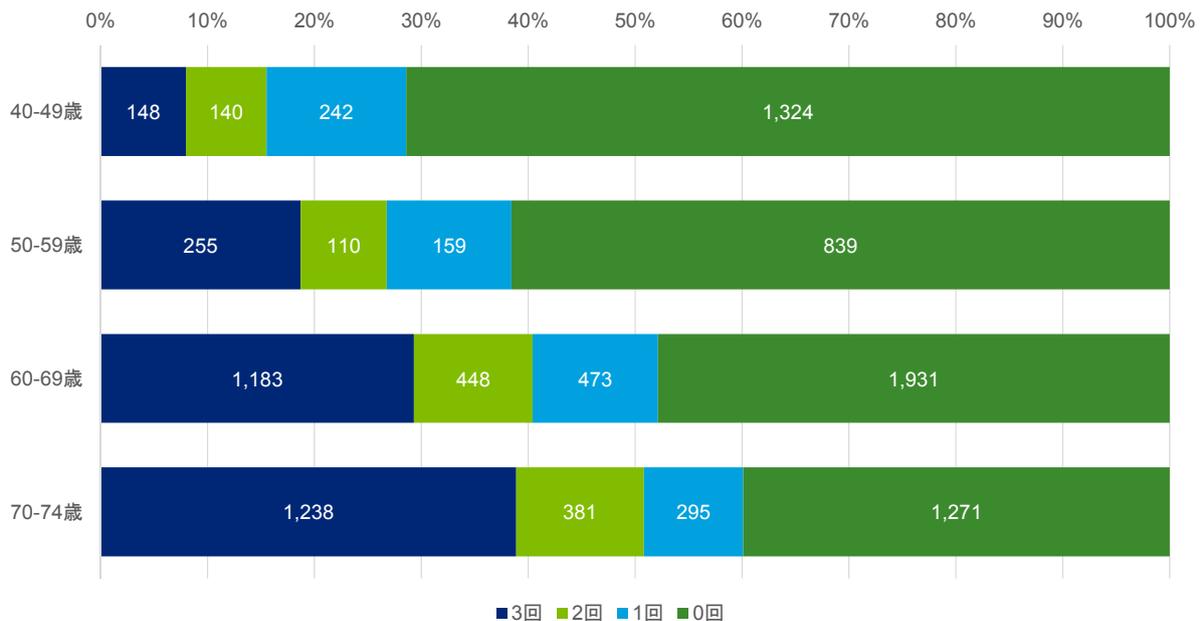
✓ 平成25年度～平成27年度に継続して国保被保険者であった40歳以上75歳未満の人を対象として集計

出典: 特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

(2) 年齢階級別受診状況

70～74歳では毎年受診している方が最も多く、40～49歳では70%以上の方が3年間で1度も受診していません。

図 22 特定健診の年齢階級別受診状況



出典: 特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

(3) 血圧・血糖・BMIに関するリスク別の状況

特定健診の結果から生活習慣病の原因となる血圧、血糖、BMI¹⁰についてリスク別の分析を行いました。
 なお、リスクの定義は特定健診におけるリスク判定基準と同じとしました。

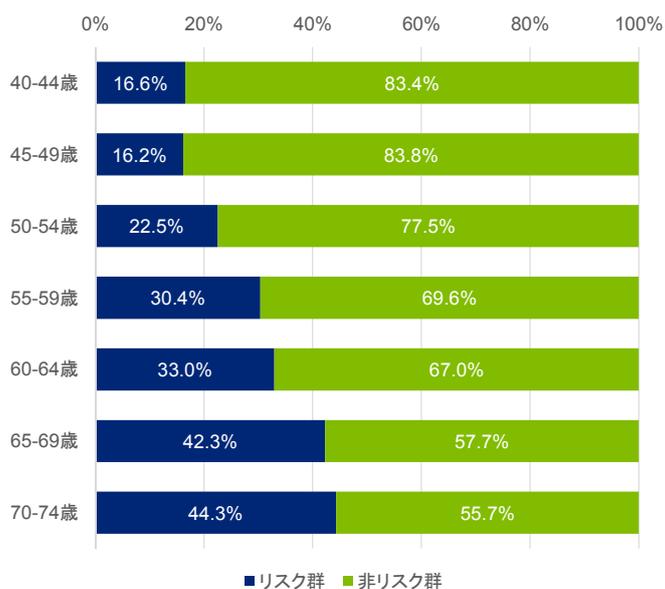
表 18 リスク群の定義

リスク群の種類	定義
血圧リスク群	収縮期血圧 130mmHg 以上、または 拡張期血圧 85mmHg 以上
血糖リスク群	空腹時血糖 100mg/dl 以上、または HbA1c5.6%(NGSP 値) 以上
BMI リスク群(肥満)	BMI が 25 以上
BMI リスク群(痩せ)	BMI が 18.5 未満

出典：厚生労働省 標準的な健診・保健指導 プログラム【改訂版】

年代別では、50 歳以上は血圧高値・血糖高値の方が多く、また、40 歳～54 歳は肥満のリスクが高いことが分かります。

図 23 年齢階級別血圧リスク群／非リスク群の構成(平成 27 年度)

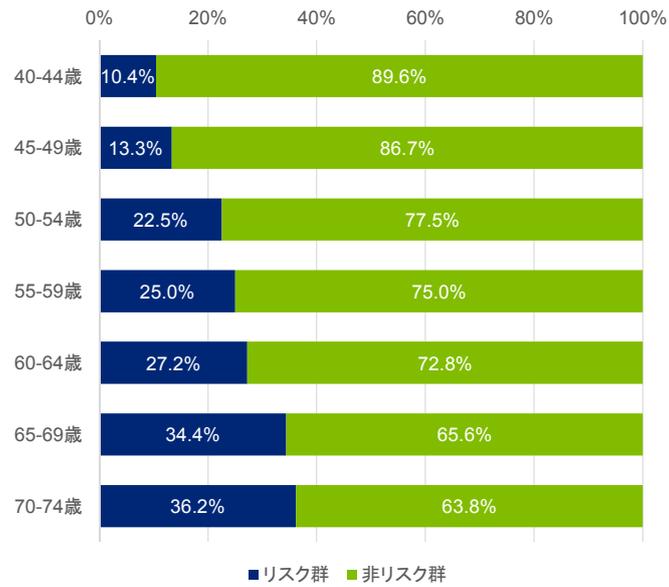


血圧リスク：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

出典：特定健康診査結果(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

¹⁰ BMI (Body Mass Index)は肥満度を測る体格指数のことである。『BMI 指数=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))』で算出される。

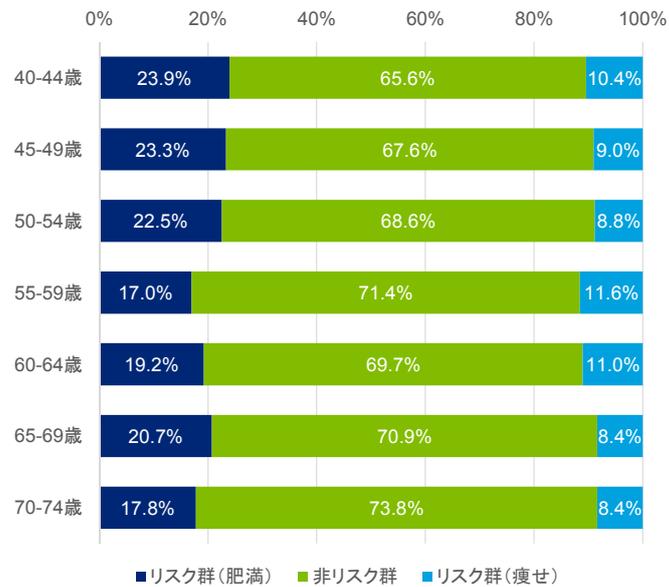
図 24 年齢階級別血糖リスク群／非リスク群の構成(平成 27 年度)



血糖リスク:空腹時血糖100mg/dl以上、またはHbA1c5.6%(NGSP値)以上

出典:特定健康診査結果(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

図 25 年齢階級別 BMI リスク群／非リスク群の構成(平成 27 年度)

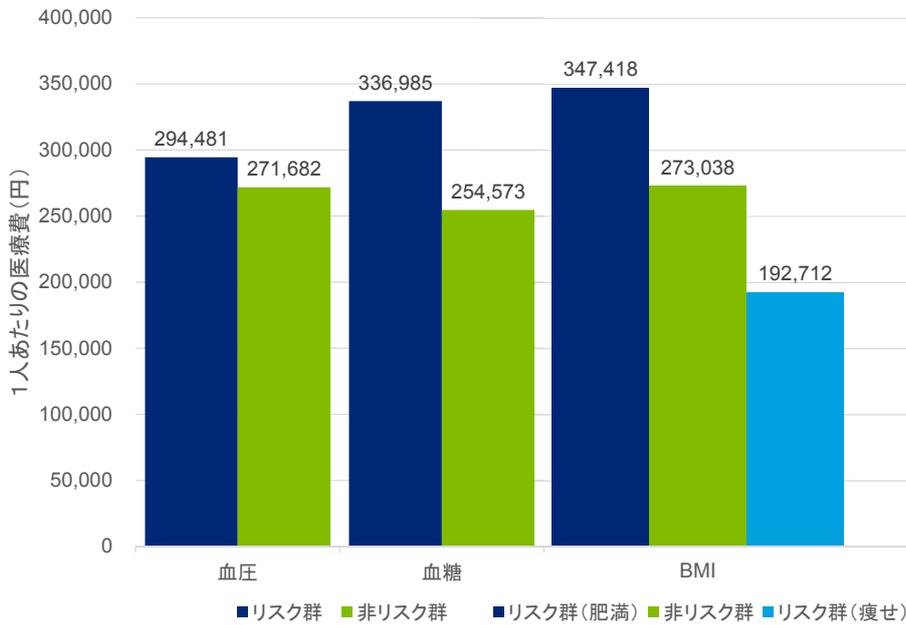


BMIリスク群(痩せ):18.5未満/BMIリスク群(肥満):25以上

出典:特定健康診査結果(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

1人あたりの医療費では、血圧及び血糖リスク群は非リスク群よりも医療費が高くなっています。また、BMIにおいても、BMIリスク群(肥満)は非リスク群よりも医療費が高くなっています。

図 26 リスク群／非リスク群の1人あたりの年間医療費(平成27年度)

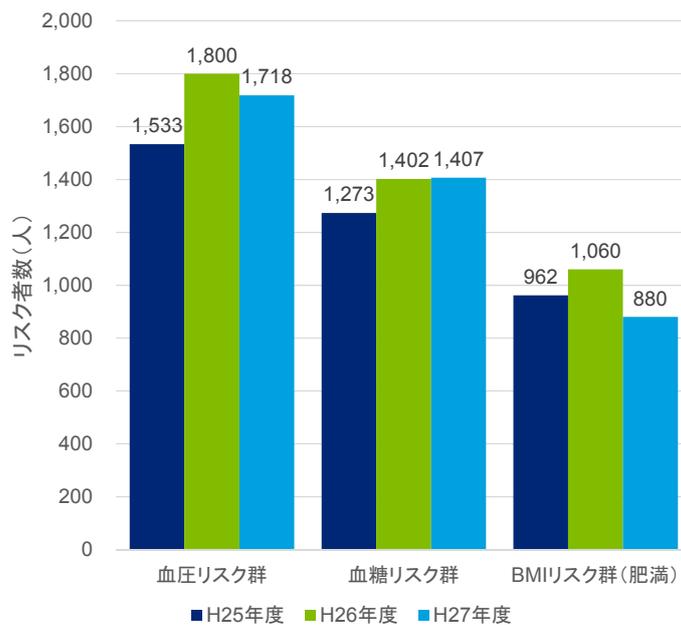


出典: 特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

血圧リスク群は血糖リスク群及びBMIリスク群より人数が多くなっています。また、血糖リスク群は毎年微増しています。

一方、BMIリスク群(肥満)は、平成27年度大きく減少しました。

図 27 リスク群の人数推移

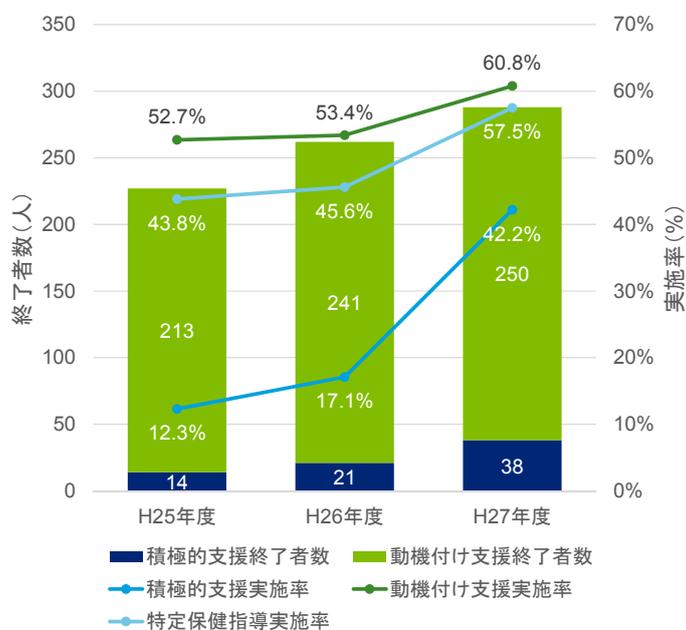


出典: 特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

5. 特定保健指導の状況

特定保健指導の実施状況は、平成 27 年度で実施率 57.5%となっており、積極的支援、動機付け支援のいずれも実施率が年々上昇しています。

図 28 特定保健指導の実施状況



出典：平成 25 年度～平成 27 年度実施法定報告保険者別集計
 ※法定報告資料によるため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

本市の特定保健指導実施率は、千葉県と比較し実施率が高い傾向にあります。

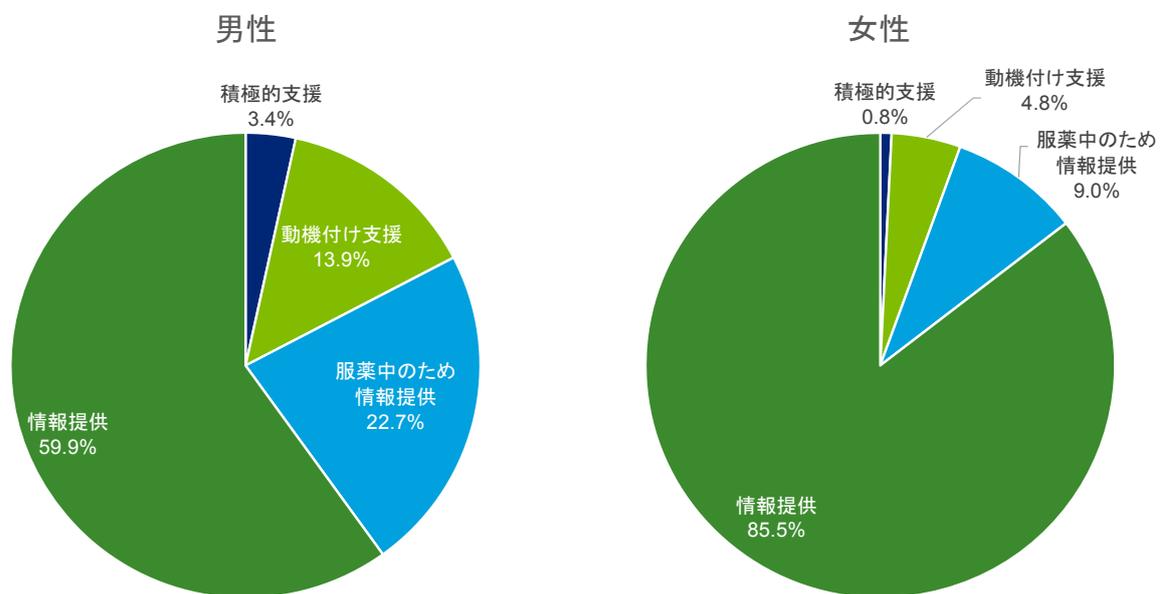
表 19 特定保健指導の実施状況(平成 27 年度)

	特定保健指導実施率	
	動機付け支援	積極的支援
白井市	57.5%	42.2%
千葉県	20.1%	12.6%

出典：平成 27 年度実施法定報告保険者別集計
 ※法定報告資料によるため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

特定保健指導対象者は、男性が多く、また、動機付け支援の対象者が多いことが分かります。

図 29 特定保健指導の対象者(平成 27 年度)



出典: 特定健康診査結果(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

6. 人工透析患者の状況

レセプトより、「人工透析¹¹(血液透析及び腹膜透析)」に該当する診療行為が行われている患者を特定し、集計を行いました。人工透析患者は、65歳以上が過半数を占めています。

また、新たに人工透析に移行される方の多くは、継続して国保に加入している方が新規国保加入者より多い状況です。人工透析患者の一人あたりの年間医療費は、約537万円となっています。

表 20 人工透析患者の年齢構成(平成27年度)

	H25年度		H26年度		H27年度		透析患者数	割合
	新たに透析に移行した者		新たに透析に移行した者		新たに透析に移行した者			
	継続	新規	継続	新規	継続	新規		
35～39歳	0	0	1	1	1	0	2	4.5%
40～44歳	0	0	0	0	0	0	3	6.8%
45～49歳	1	1	0	0	0	0	5	11.4%
50～54歳	0	0	1	1	0	0	3	6.8%
55～59歳	0	0	0	0	0	0	3	6.8%
60～64歳	0	0	2	2	1	1	5	11.4%
65～69歳	0	0	0	2	3	1	11	25.0%
70～74歳	2	1	0	0	1	0	12	27.3%
合計	3	2	4	6	6	2	44	

出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成25年4月～平成28年3月分)より集計
 ※継続とは、1年以上白井市の国保に加入しており、新たに透析に移行した者。

新規とは、白井市国保資格を取得する以前から透析患者であった者。

人工透析患者は、脂質異常症や高尿酸血症を含む「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」といった生活習慣病を併発していることがわかります。

表 21 人工透析患者が併発している疾病患者数上位10疾病(中分類、平成27年度)

順位	疾病名(中分類)	患者数(人)
1	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	44
	腎不全	44
3	貧血	41
4	高血圧性疾患	40
5	その他の消化器系の疾患	38
	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38
7	その他の損傷及びその他の外因の影響	34
8	その他の心疾患	33
9	糖尿病	31
10	骨の密度及び構造の障害	30

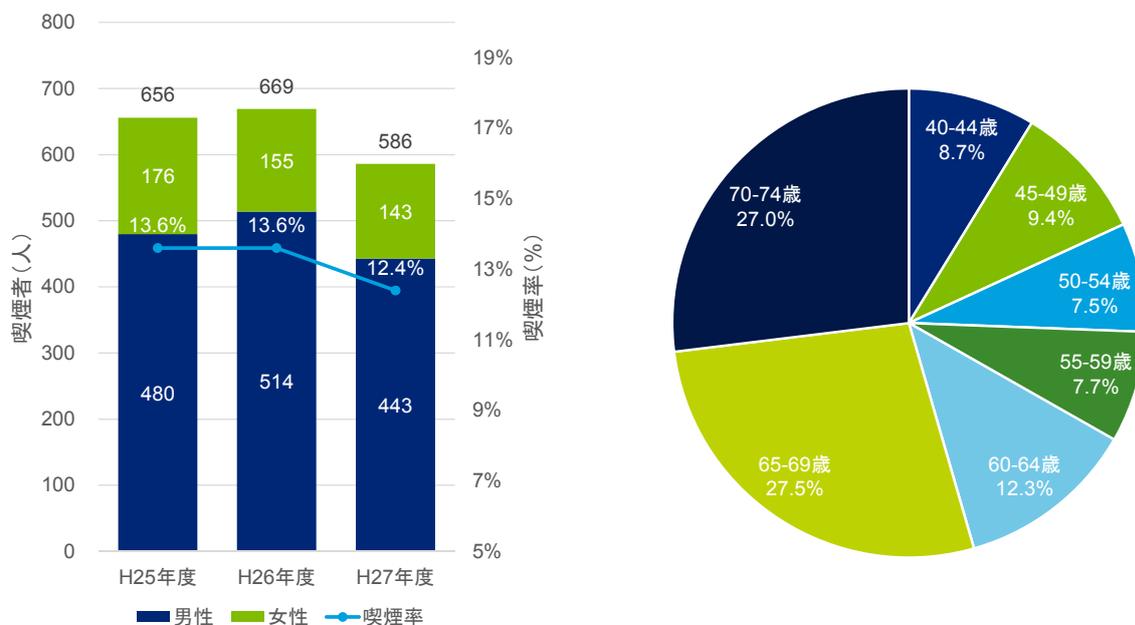
出典:KDB 被保険者台帳、医科・歯科調剤レセプト(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

¹¹ 腎臓の機能が低下し、体内の老廃物を除去できなくなった際に、人工的に血液を浄化する方法である。血液透析は体外の透析器を利用して血液を浄化する方法で、腹膜透析は腹部にある腹膜を利用して体内の毒素を除去する方法である。

7. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)¹²の状況

特定健診の間診票において喫煙状況を確認したところ、喫煙者は全体の過半数を 60 歳以上の方が占めていました。また、平成 27 年度における本市の喫煙率は減少したものの、これまで他の自治体と比較して高い喫煙率となっていたため、喫煙に起因する疾病のリスクは依然高いままと推測されます。

図 30 喫煙者数及び喫煙率の推移と喫煙者の年齢構成(平成 27 年度)



出典:特定健康診査結果(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

※喫煙率は KDB による計算値のため、ほかの集計値とは一致しない場合がある。

表 22 他自治体との喫煙率の比較

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
白井市	13.6%	13.6%	12.4%
千葉県	13.5%	13.3%	13.2%
同規模保険者 ¹³	13.2%	13.2%	13.3%

出典:KDB 地域の全体像の把握

※KDB による計算値ため、その他の集計値とは一致しない場合がある。

¹² 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、喫煙が主な原因で肺に炎症を起こし、呼吸に支障をきたす疾患である。

¹³ 同規模保険者とは、白井市と同じ人口規模の他自治体(市)のことである。同規模保険者と比較することで地域の特性を把握することを目的としている。

また、喫煙者の1人あたりの医療費は年々高くなっており、平成27年度は25万119円でした。そのため、喫煙者は減少したものの、医療費は1億4,657万円と依然として高いままとなっています。

図 31 喫煙者の医療費の推移



出典: 医科・歯科調剤レセプト、特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

喫煙者が罹患している疾病は、「歯肉炎及び歯周疾患」が最も多くなっています。

また、脂質異常症や高尿酸血症を含む「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「高血圧性疾患」、「糖尿病」の生活習慣病を罹患する方が多くなっています。

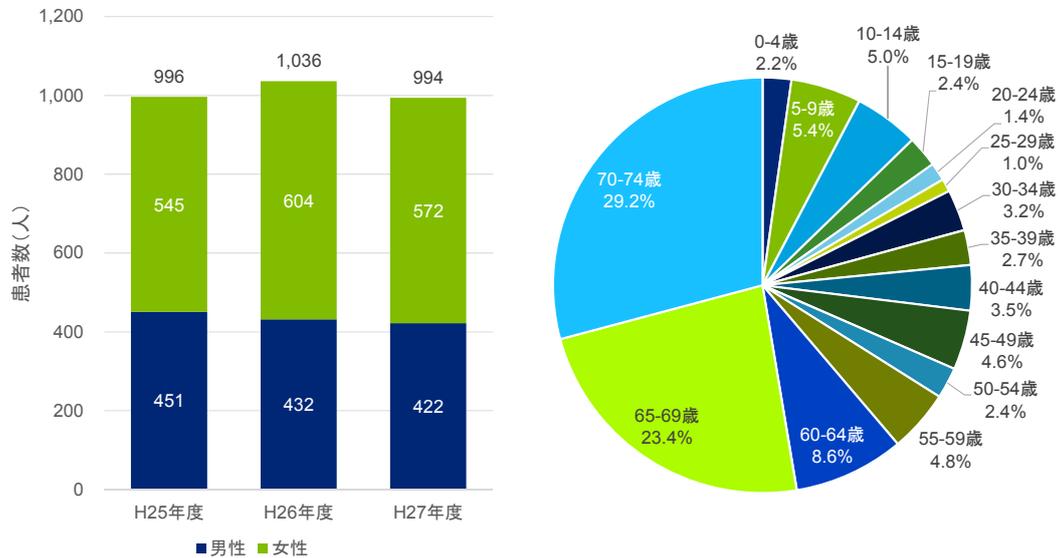
表 23 喫煙者が罹患している疾病患者数上位10疾病(中分類、平成27年度)

順位	疾病名(中分類)	患者数(人)
1	歯肉炎及び歯周疾患	284
2	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	189
3	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	189
4	高血圧性疾患	188
5	う蝕	185
6	その他の歯及び歯の支持組織の障害	176
7	その他の消化器系の疾患	176
8	その他の損傷及びその他の外因の影響	171
9	糖尿病	154
10	胃炎及び十二指腸炎	135

出典: 医科・歯科調剤レセプト、特定健康診査結果(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

長年の喫煙習慣が主な原因となる慢性閉塞性肺疾患(以下、「COPD」という。)の状況は、平成 27 年度の患者数が 994 人と平成 25 年度から患者数にほとんど変化はなく横ばいとなっています。年齢構成では、70～74 歳が 29.2%と最も多く、65～69 歳が 23.4%、60～64 歳が 8.6%と続きます。

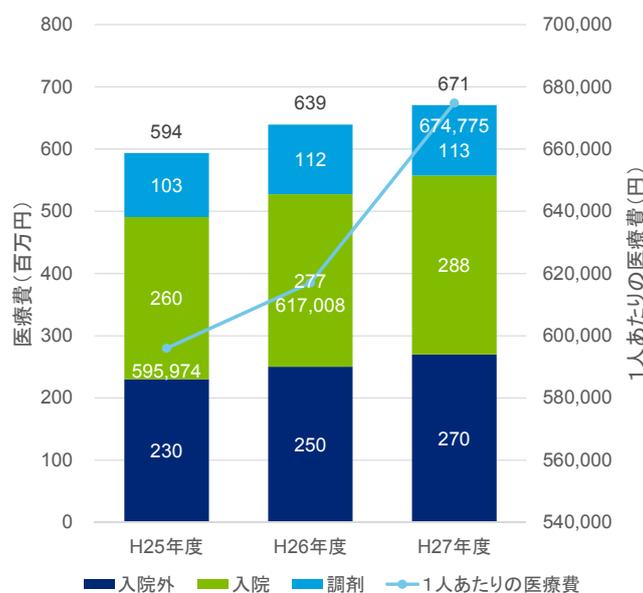
図 32 COPD の患者数と年齢構成(平成 27 年度)



出典: 医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

また、COPD の患者の医療費は年々増加しており、平成 27 年度では年間 6 億 7,072 万 6,120 円、1 人あたりの医療費は 67 万 4,775 円となっています。これは、被保険者 1 人あたりの年間医療費 25 万 18 円の 2.7 倍となります。

図 33 COPD の患者の医療費の推移



出典: 医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

8. ジェネリック医薬品の状況

(1) 普及状況

ジェネリック医薬品¹⁴のある先発医薬品¹⁵において、ジェネリック医薬品の普及状況は、3年間で大きく進んでいることがわかります。

図 34 ジェネリック医薬品の普及率

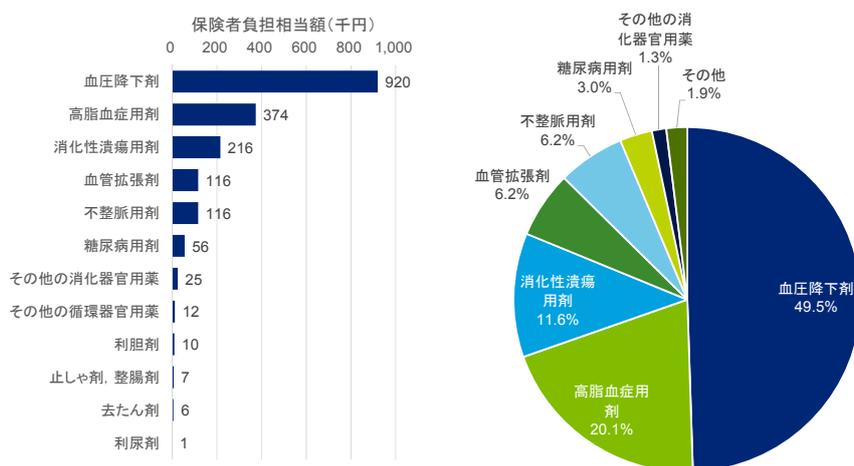


出典：医科・歯科調剤レセプト(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月分)より集計

(2) 切り替えによる医療費軽減効果

ジェネリック医薬品に切り替えたことによる保険者の医療費負担が軽減されています。

図 35 切り替えによる保険者負担軽減相当額と薬効分類別の構成割合



出典：国保総合システム出力帳票

¹⁴ 新薬(先発医薬品)の特許期間が終了した後に、他の企業が製造・販売する同じ主成分の医薬品をジェネリック医薬品(後発医薬品)という。一般的に、ジェネリック医薬品は新薬よりも低価格となっている。

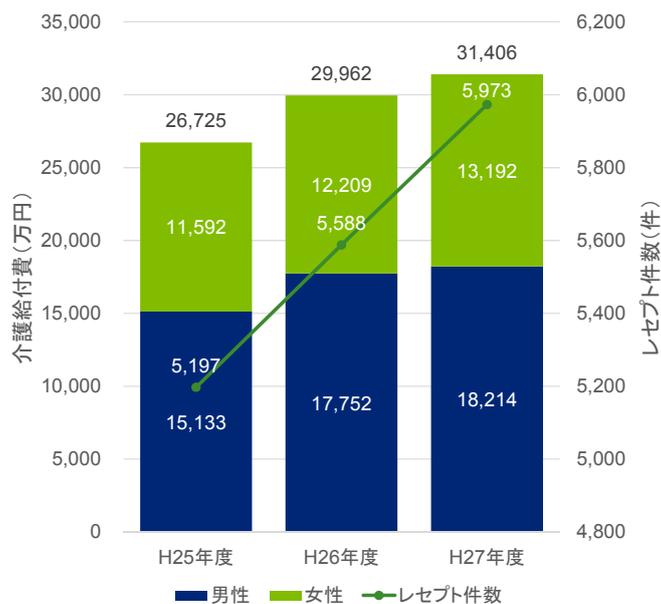
¹⁵ 新規に開発され、特許を取得している医薬品(新薬)を指す。

9. 介護保険利用者の状況

本市の介護給付は、年々増加傾向にあります。年齢階級別の給付状況では、高齢になるにつれて介護の需要が高まっており、70～74歳の介護給付は、65～69歳の約2倍を占めていることがわかります。

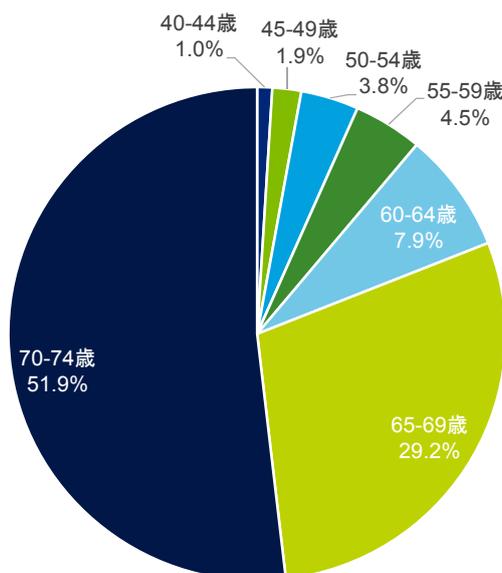
また、高齢化率や認定率が年々増加し(図 38)、要介護認定者のうち、高血圧症、心臓病、筋・骨格系疾患の有病者(表 24)が多くみられ、要介護認定者と認定のない方を比較すると医療費(医科)が約2.5倍と高くなっています。

図 36 介護給付費とレセプト件数の推移



出典:介護給付基本実績(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

図 37 介護給付費の年齢構成(平成27年度)



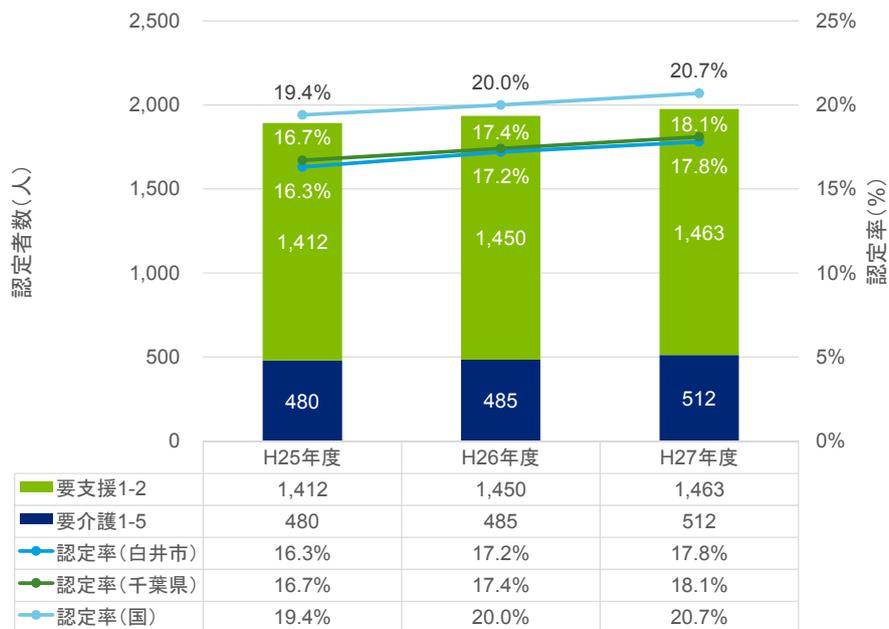
出典:介護給付基本実績(平成25年4月～平成28年3月分)より集計

表 24 介護保険認定者の有病状況・介護サービス給付・医療費(平成 27 年度)

	白井市	県	同規模	国
有病状況(%)				
糖尿病	21.0	20.1	21.5	21.4
高血圧	51.8	11.1	50.9	49.7
脂質異常症	27.3	24.0	26.8	27.3
心臓病	57.8	50.2	58.2	56.7
脳疾患	23.6	22.3	26.2	25.4
がん	11.3	9.4	9.7	9.8
筋・骨格	46.0	42.5	49.8	48.9
精神	34.4	29.5	34.4	33.8
認知症(再掲)	21.0	17.4	21.2	20.7
アルツハイマー病	16.7	13.8	17.5	16.9
委託サービス				
1件あたり給付費(円)	39,612	39,073	40,114	39,562
千人あたり事業所(数)	3.33	4.17	2.49	2.48
施設サービス				
1件あたり給付費(円)	274,868	279,951	281,502	284,402
千人あたり事業所(数)	0.11	0.13	0.20	0.18
要介護認定者医療費(円)				
医科	10,000	8,236	8,033	8,011
歯科	1,397	1,442	1,586	1,584
非要介護認定医療費(円)				
医科	3,781	3,700	3,876	3,886
歯科	1,224	1,265	1,351	1,358

資料:KDB 地域の全体像の把握

図 38 介護保険認定率の推移



資料:KDB 地域の全体像の把握、要介護(支援)者認定状況